

スキルアップ講座～2013⑥

絵本の読み聞かせ

講師 小柳生子先生

今日の講座には、絵本の読み聞かせのボランティア活動をしている小柳先生に来ていただきました。絵本の読み聞かせをする時の本の持ち方から、声の出し方のような細かい方法や、セリフを読むときの感情を込める様子などを教えていただきました。そして、自分たちでも、実際、読み聞かせをやってみた貴重な時間になりました。



感想コーナー

- ・ 絵本の読み聞かせで大事なことがこんなにたくさんあると思っていませんでした。小さい頃、本を読んでもらうのが好きだったので、自分も読むことを学んでみたいと思っていました。とてもいい経験ができました。先生の読んでいるのを聞いていて、とても楽しかったです。子どもの頃に戻った気分でした。自分が将来、母や祖母となったときに役に立ちそうです。自分のやりたいものを見つけてそれに一生懸命に取り組んでいきたいです。絵本の世界は深いなと感じることができた講座でした。
- ・ 私は朗読というとただ本を読むだけだと思っていました。しかし、様々な工夫がされていることに気がつきました。ビラ、カバー、葉などを取ったり、ぐらぐらさせないようにしたり、いろいろあるんだなと思いました。先生が話してくれた、「自分で何かやりたいことを探し見つけること」ということばがとても印象的でした。やりたいことがはっきりしていないと、見つけることも探すこともできないと思いました。私もいつか好きな本を一冊探してみたいです。
- ・ 今日の講座を聞いていて、読み聞かせは読む人によっておもしろさが違うんだと思いました。普通に私たちが読むと感情があまり出ないのですが、先生が読むといろいろな感情が込められていて、とても面白く感じました。また、良い本といわれている本には眼を通しておくこと、三大絵本といわれる「おおきなかぶ」と「三びきのやぎのがらがらどん」「てぶくろ」は私も読みたいと思いました。また実際の読み方も教えていただいたので、保育園などでできるように練習したいです。
- ・ 今回の講座で、本を読んであげるときにはどのように読むと良いか学ぶ事ができた。読み方から持ち方など、細かいところまで知ることが出来た。今までも読み聞かせの会に参加したことがあるが、今日はプロの人という感じがして、学ぶ事がたくさんあった。先生の読み聞かせを聞いて、私もそんな風に読んでみたいと思った。そのためにはたくさん本を読んで練習することが大切だと感じた。最後に「ラヴ・ユー・フォーエバー」を暗記して読んでいたので、すごいと思った。将来保育士になった時今日のことを忘れないでいたいと思った。